

「京丹後市地域計画」で地域農業の維持継続・発展を目指す

京都府 京丹後市農業委員会

1 農業委員会の体制と市町村行政との連携状況

○ 農業委員	:	参加
○ 農地利用最適化推進委員	:	参加
○ 事務局職員	:	参加
○ 関係団体（名称のみ）		
○ 市町村行政との連携状況		連携



2 地区の特徴、状況、課題

京丹後市は、京都府最北端の市。昭和50年代から造成された大規模な国営農地開発事業が実施され、500haの畑地造成が行われている。その国営地を中心に野菜、果樹、茶の生産が行われ、また平野部では水田で良食味のコシヒカリを中心とした水稻の生産をしている。課題としては、耕作者の後継者問題や農業生産基盤の老朽化がある。

3 委員による継続した話し合いの取組内容

○京丹後市を28地区に分けて、農地台帳の情報を現況地図とし、各区で作成されていた京力農場プランや水稻細目書、機構事業などで現状を確認しながら、それぞれの「協議の場」で、委員・市担当者・地域代表で目標地図を作成した。

○また各「協議の場」ではアンケート等を行い、市担当者がとりまとめ、各地区での「地域計画」を作成した。

4 成果（地域計画の実行に向けた取組内容）

○広域エリア間での話し合いで目標地図を作成した事により、他地区の現状が明らかになり、今後の地域間での協力体制ができるきっかけとなった。

○協議の場での話し合いの中で、他地域での取組や法人、また集積の実情などを情報交換できる場となった。

※事例候補（地区連絡会議の単位が望ましい）の選定や作成にあたっては、農業会議の現地推進役と相談してください